

平成29年度海老名市介護保険運営協議会第3回会議 結果

日 時：平成29年10月19日（木）
午後1時30分～2時15分
場 所：海老名市役所 政策審議室

出席委員 11名

高橋委員、窪田委員、小賀坂委員、窪倉委員、川村委員、田中委員、神崎委員、
大貫委員、加藤委員、高野委員、吉田委員

（鈴木委員、久田委員、平本委員欠席）

事務局（保健福祉部） 6名

橋本保健福祉部長、木村保健福祉部次長、萩原高齢介護課長、
安本高齢者支援係長、荒井介護保険係長、前田主事

傍聴者 なし

1 開 会 （司会：萩原高齢介護課長）

2 あいさつ （橋本保健福祉部長・高橋会長）

※橋本保健福祉部長退席

3 議 題（進行：高橋会長）

(1) 第7期えびな高齢者プラン21骨子案について（荒井係長）

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の概要

第7期えびな高齢者プラン21策定にあたっての計画策定の概要

2 計画の位置づけ

第7期「えびな高齢者プラン21」の位置づけ

3 計画の構成

「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体化した計画

4 計画の期間

平成30年度から32年度までの3か年

5 計画の策定体制

第2章 高齢者を取り巻く状況

1 人口構造

2 計画期間の人口推計

平成29年8月1日 131,547人（高齢化率24.0%）

平成32年10月1日136,233人(高齢化率24.3%)

第3章 計画の基本理念と施策等

1 基本理念

地域で共に支え合い

生きがいを持って安心できる生活の実現

2 基本目標と施策

基本目標1 健康な生活を送るための事業推進

基本目標2 地域包括ケアシステムの深化・推進

基本目標3 介護保険制度の適正な運営

3 施策の内容

基本目標を達成するための具体的な施策内容

委員：基金を取崩し保険料の上昇を抑えたとあるが、基金と給付費の関係はどういうものか。

事務局：基金は、毎年度、前年度決算に基づき精算を行い、国・県・40歳から64歳までの方の保険料からなる支払基金への返還金と市への返還金を差し引いたもので、65歳以上の方である第1号被保険者の保険料の残金を、ひとりひとりに返金するのは現実的ではないので、基金として積み立て、次の計画期間中に取り崩すことで保険料の上昇を抑えます。介護保険給付費等準備基金とは名称であって、給付費のために積み立てているものではない。

委員：重点項目に挙げられている地域密着型サービスの充実は、実態調査を反映しており結構なことである。定期巡回や小規模多機能というサービスは特養と同じように公募選定委員会で決定されるのか。

事務局：その通りである。応募があった事業所がサービス提供するに相応しいものか否かを選定することになります。

委員：在宅医療と介護の連携について、現状と見通しにはどうなっているのか。

会長：市と医師会が連携して協議会を立ち上げ4年になる。地域包括ケアを推進していくには医療と介護の連携が不可欠で、歯科医師、看護師、作業療法士など様々な専門家がチームとして同じ目標に向かって行動することが必要。年3回のペースで協議会を開催しているほか、研修会も実施している。

(2)国分寺台地域包括支援センター公募について(安本主幹)

○8月1日から31日にかけて公募したが応募する事業者がなかった。

○範囲を広げ藤沢茅ヶ崎あたりまで可能とし、再公募中である。

○運協からも1名委員を推薦いただき、当初は9月に選定委員会を開催する予定であったが、遅れている。

○職員をそろえるのに苦労するという声をきく。

4 閉 会